

# CVR100W VPNルータのインターネット設定

## 目的

インターネットセットアップは、ワイドエリアネットワーク(WAN)ポートからインターネットへの接続を作成するために使用されます。WANは、広いエリアに広がるネットワークで、特にインターネットを使用した効果的な通信を可能にします。このプロセスでは、デバイスを介してインターネットにアクセスできます。この記事では、CVR100W VPNルータを介してWANへのインターネット接続を設定する方法について説明します。

注：WAN接続の設定は、使用しているインターネット接続によって異なります。

## 該当するデバイス

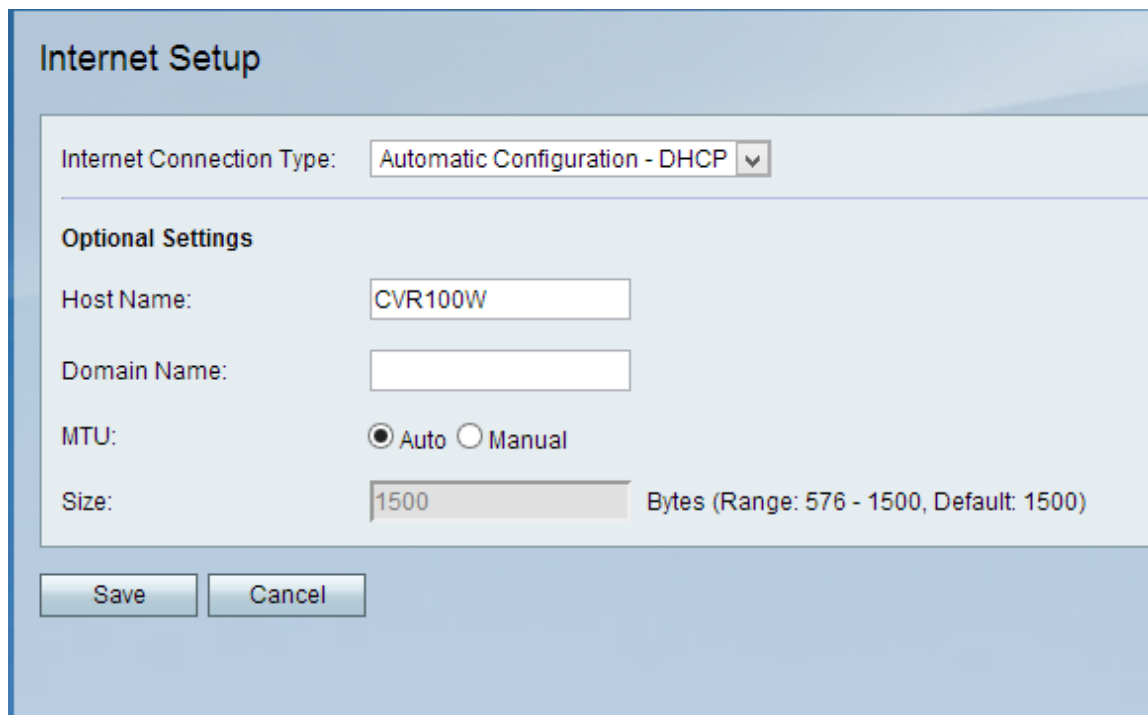
- ・ CVR100W VPNルータ

## [Software Version]

- ・1.0.1.19

## インターネット設定

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Networking] > [WAN] > [Internet Setup]を選択します。「インターネットの設定」ページが開きます。



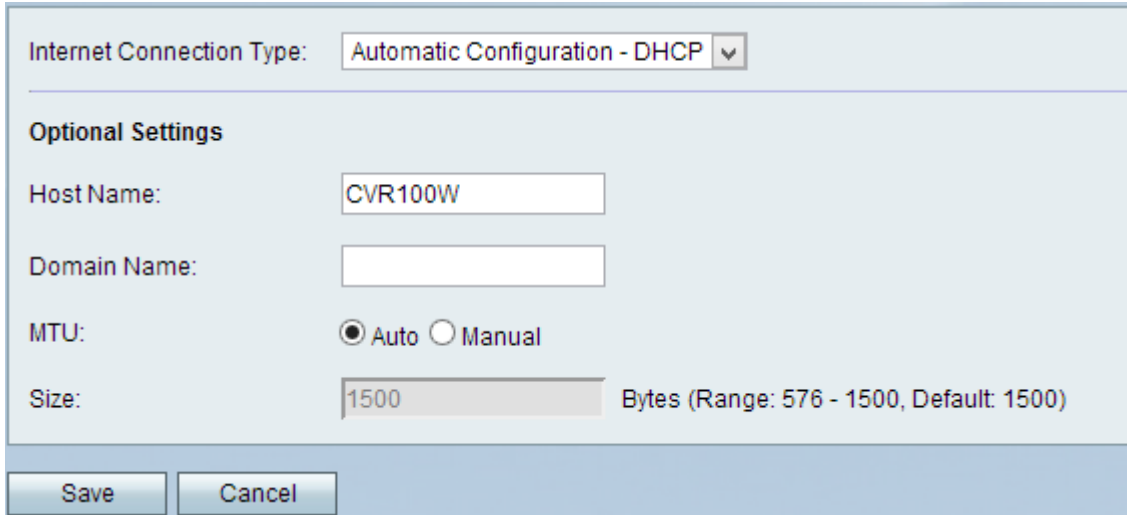
The screenshot shows the 'Internet Setup' configuration page. At the top, the title 'Internet Setup' is displayed. Below it, the 'Internet Connection Type' is set to 'Automatic Configuration - DHCP' via a dropdown menu. Under the 'Optional Settings' section, the 'Host Name' is 'CVR100W', the 'Domain Name' field is empty, and the 'MTU' is set to 'Auto' (selected with a radio button). The 'Size' is set to '1500' bytes, with a note indicating the range is 576 - 1500 and the default is 1500. At the bottom, there are 'Save' and 'Cancel' buttons.

ステップ2:[Internet Connection Type]ドロップダウンリストから、WANポートのオプションを選択します。

- ・ [Automatic Configuration-DHCP](#):CVR100Wルータは、インターネットサービスプロバイダー(ISP)からIPアドレスを動的に受信します。

- ・ [PPPoE](#):(Point-to-Point Protocol over Ethernet)では、ISPから提供されたユーザ名とパスワードを使用する必要があります。
- ・ [スタティックIP](#):ISPからWANデバイスの永続的なIPアドレスが提供される場合に使用されます。

## 自動設定 : DHCP



Internet Connection Type: Automatic Configuration - DHCP

Optional Settings

Host Name: CVR100W

Domain Name:

MTU:  Auto  Manual

Size: 1500 Bytes (Range: 576 - 1500, Default: 1500)

Save Cancel

注：オプション設定は、ISPが必要とする場合にのみ設定する必要があります。

ステップ1:[Host Name]フィールドにネットワークのホスト名を入力します。ホスト名は、ISPがWAN接続を識別するために使用するデバイスの名前です。

ステップ2:[Domain Name]フィールドにネットワークのドメイン名を入力します。ドメイン名は、ISPがWAN接続を識別するために使用します。

ステップ3：最大伝送ユニット(MTU)は、デバイスが渡すことができる特定の最大量のプロトコルデータユニットです。次のいずれかのオプションボタンをクリックします。

- ・ Auto:MTUサイズは自動的に設定されます。
- ・ Manual — MTUを手動で指定するには、[Size]フィールドにISPから必要な番号を入力します。

ステップ4:[Save]をクリックします。

## PPPoE

Internet Setup

Internet Connection Type: PPPoE

**PPPoE Settings**

Username:

Password:

Connect on Demand: Max Idle Time  minutes (Range: 1 - 9999, Default: 5)

Keep Alive: Redial period  seconds (Range: 20 - 180, Default: 30)

Authentication Type: Auto Negotiation

**Optional Settings**

Host Name:

Domain Name:

MTU:  Auto  Manual

Size:  Bytes (Range: 576 - 1492, Default: 1492)

Save Cancel

ステップ1:ISPから割り当てられたユーザ名をユーザ名フィールドに入力します。

ステップ2 : パスワードフィールドに、ISPから割り当てられたパスワードを入力します。

ステップ3 : 次のいずれかのオプションボタンをクリックします。これにより、PPPoE接続の接続タイプが決まります。

- ・ Keep Alive:[Redial period]フィールドに、CVR100Wが切断された後に再接続を試行する秒数を入力します。
- ・ Connect on Demand:インターネットサービスが一定の接続時間に基づいている場合は、CVR100Wがアイドル状態である時間(分)を入力します。その後、接続がシャットダウンします。

ステップ4:[Authentication Type]ドロップダウンリストから、PPPoE接続に使用する認証のタイプを選択します。

- ・ 自動ネゴシエーション : サーバからデバイスに送信され、特定のセキュリティコードを要求して、CVR100WからサーバへのVLANを確認します。
- ・ PAP:Password Authentication Protocol ( PAP ; パスワード認証プロトコル ) では、デバイスをISPに接続するために特定のパスワードが必要です。
- ・ CHAP : デバイスをISPに接続するためにサーバにpingを送信するチャレンジハンドシェイク認証プロトコル。

- ・ MS-CHAPまたはMS-CHAPv2:Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol(CHAP)は、CHAPと同様に要求をサーバに送信します。ただし、この方法は、デバイスをISPに接続するために別のパスワードが必要なMicrosoft方式です。

**注：オプション設定は、ISPが必要とする場合にのみ設定する必要があります。**

ステップ5:[Host Name]フィールドにネットワークのホスト名を入力します。ホスト名は、ISPがWAN接続を識別するために使用するデバイスの名前です（この場合はCVR100Wルータ）。

ステップ6:[Domain Name]フィールドにネットワークのドメイン名を入力します。ドメイン名は、ISPがWAN接続を識別するために使用します。

ステップ7：最大伝送ユニット(MTU)は、デバイスが渡すことができる特定の最大量のプロトコルデータユニットです。次のいずれかのオプションボタンをクリックします。

- ・ Auto:MTUサイズは自動的に設定されます。
- ・ Manual — MTUを手動で指定するには、[Size]フィールドにISPから必要な番号を入力します。

ステップ8:[Save]をクリックします。

## スタティックIP

### Internet Setup

Internet Connection Type:

---

#### Static IP Settings

Internet IP Address:  .  .  .  (Hint: 192.168.100.100)

Subnet Mask:  .  .  .  (Hint: 255.255.255.0)

Default Gateway:  .  .  .  (Hint: 192.168.100.1)

Static DNS 1:  .  .  .  (Hint: 1.2.3.4)

Static DNS 2:  .  .  .

---

#### Optional Settings

Host Name:

Domain Name:

MTU:  Auto  Manual

Size:  Bytes (Range: 576 - 1500, Default: 1500)

ステップ1:ISPによって割り当てられたすべてのIPアドレスを適切なフィールドに入力します。

- ・ インターネットIPアドレス : WANポートのスタティックIPアドレス。
- ・ サブネットマスク : スタティックIPアドレスのサブネットマスク。
- ・ Default Gateway:WANポートのデフォルトゲートウェイ。
- ・ スタティックDNS 1 : プライマリDNS ( ドメインネームシステム ) サーバのIPアドレス。
- ・ スタティックDNS 2 : セカンダリDNSサーバのIPアドレス。

ステップ2:[Domain Name]フィールドにネットワークのドメイン名を入力します。

**注 :** オプション設定は、ISPが必要とする場合にのみ設定する必要があります。

ステップ3:[Host Name]フィールドにネットワークのホスト名を入力します。ホスト名は、ISPがWAN接続を識別するために使用するデバイスの名前です ( この場合はCVR100Wルータ ) 。

ステップ4:[Domain Name]フィールドにネットワークのドメイン名を入力します。ドメイン名は、ISPがWAN接続を識別するために使用します。

ステップ5 : 最大伝送ユニット(MTU)は、デバイスが渡すことができる特定の最大量のプロ

トコルデータユニットです。次のいずれかのオプションボタンをクリックします。

- ・ Auto:MTUサイズは自動的に設定されます。
- ・ Manual — MTUを手動で指定するには、[Size]フィールドにISPから必要な番号を入力します。

ステップ6:[Save]をクリックします。